

令和 6 年 10 月 27 日執行衆議院議員選挙 調査結果の概要

※この調査は、衆議院（小選挙区選出）議員選挙におけるものである。

1 年代別の投票行動

（１）年代別の比較

21 歳～24 歳（35.66%）が最も低く、年齢層が上がるとともに、投票率が上昇している。70 歳～74 歳（70.94%）で最も高くなり、75 歳以上の各層では低下している。

（２）前回衆議院議員選挙との比較

前回衆院選（令和 3 年 10 月 31 日執行）の年代別投票率と比較すると、30～34 歳と 80 歳代以上を除くすべての年代で今回の投票率が前回の投票率を下回っている。特に、19 歳では、前回は 4.69 ポイント下回っており、前回との差が最も大きくなっている。

なお、全体の投票率は 56.06%で、前回衆院選の 57.21%に比べて 1.15 ポイント低くなっている。

2 男女別・年代別の投票行動

19 歳、20 歳、及び 60 歳代以上の各層で、男性の投票率が女性の投票率より高くなっている。特に、80 歳代以上では、男性 60.68%、女性 47.22%で、その差が 13.46 ポイントと最も大きくなっている。

また、45～49 歳では、男性、女性ともに投票率が 58.11%となっている。

18 歳、21 歳～44 歳及び 50 歳～59 歳の各層では、女性の投票率が男性の投票率を上回っている。

全体の男女別投票率は、男性 56.28%、女性 55.85%で、男性の投票率が女性の投票率を 0.43 ポイント上回った。

3 地域別・年代別の投票行動

区部、市部、郡部、島部の全地域で70歳代の投票率が最も高くなっている。区部、市部、郡部では20歳代の投票率が最も低くなっている一方、島部では10歳代の投票率が最も低くなっている。

また、地域別の投票率をみると、区部55.65%、市部57.04%で、市部の投票率が区部の投票率を1.39ポイント上回っている。

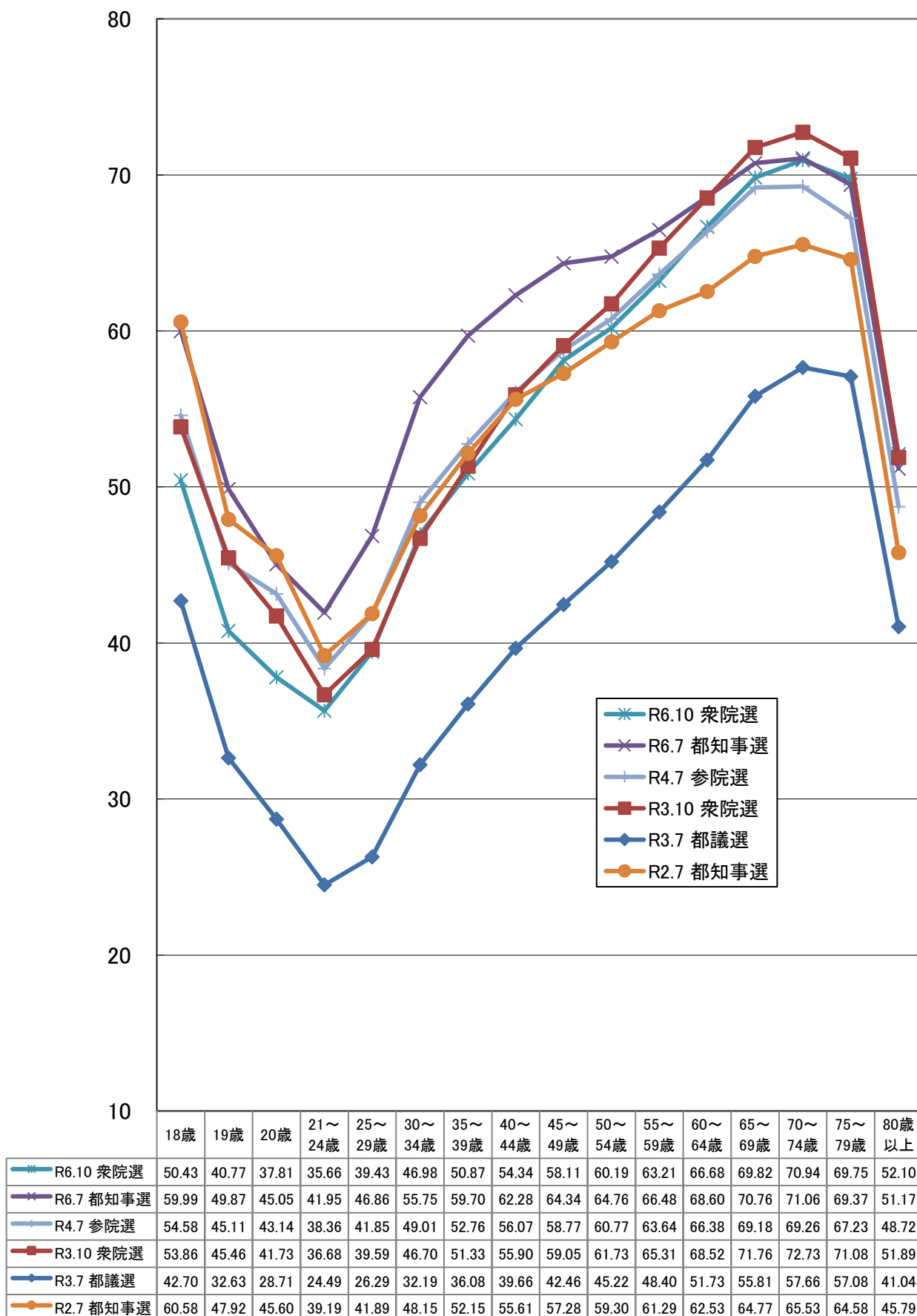
4 区部地域別・年代別の投票行動

特別区を都心、城南、城西、城北、城東の5つの地域に分け、年代別投票率を記載している。

なお、26市5町8村については、面積が広く、また区部と比較すると人口が集積していないことから、地域を区分けして集計・分析は行っていない。

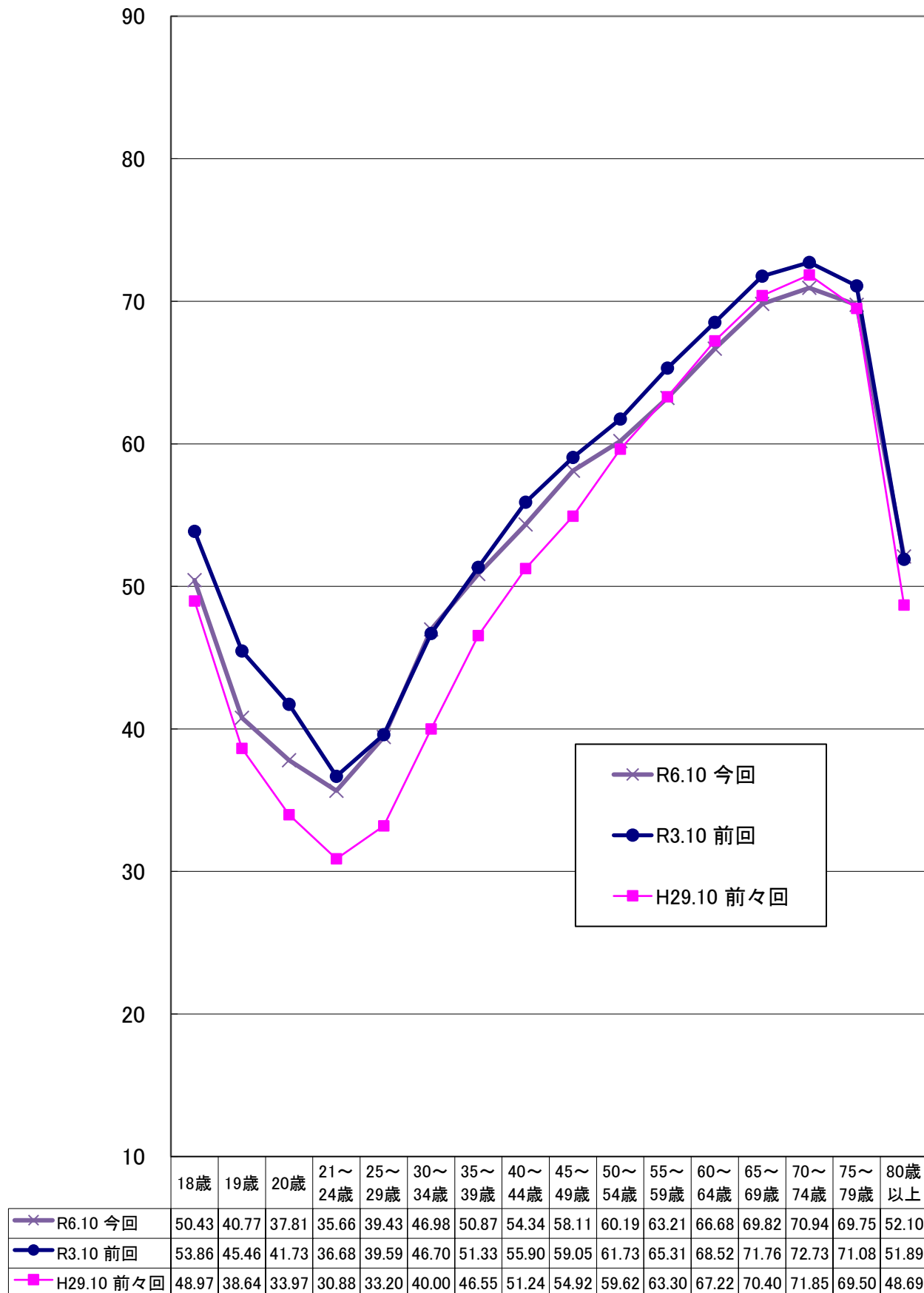
(単位: %)

年代別・選挙別推定投票率一覧



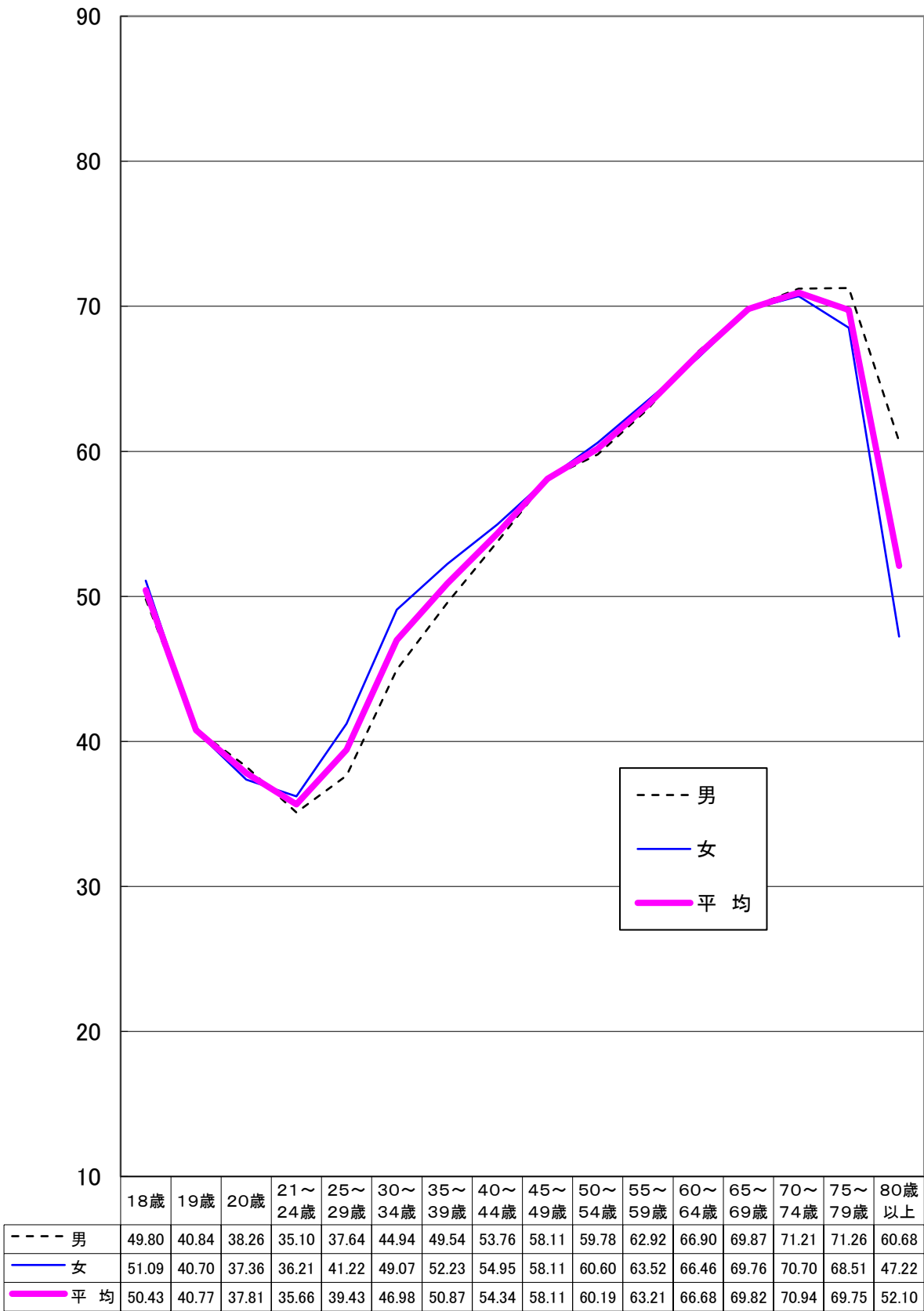
(単位: %)

年代別推定投票率一覧(衆議院議員選挙)



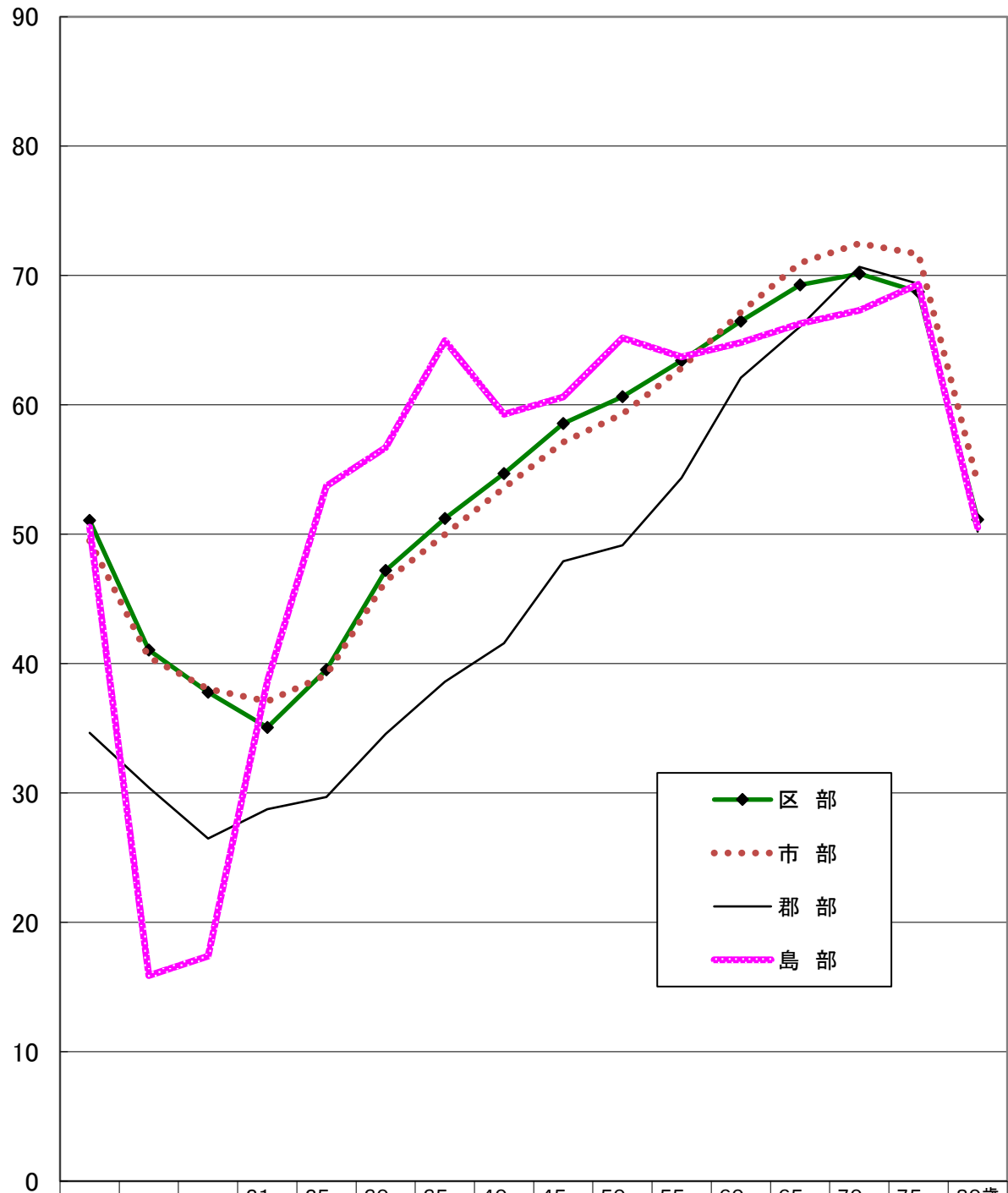
男女別・年代別推定投票率一覧

(単位: %)



地域別・年代別推定投票率一覧

(単位: %)



	18歳	19歳	20歳	21～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
区 部	51.07	41.05	37.79	35.07	39.53	47.20	51.22	54.69	58.57	60.64	63.42	66.48	69.27	70.14	68.73	51.13
市 部	49.50	40.49	38.03	37.09	39.12	46.38	49.98	53.58	57.13	59.29	62.86	67.16	70.97	72.48	71.66	53.96
郡 部	34.66	30.42	26.48	28.76	29.70	34.57	38.60	41.57	47.91	49.14	54.35	62.11	66.05	70.67	69.37	50.19
島 部	50.56	15.89	17.39	38.65	53.74	56.71	64.97	59.28	60.62	65.17	63.71	64.82	66.29	67.30	69.32	50.53

区部地域別・年代別推定投票率一覧

(単位: %)

